

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2年	2単位	必修
担当教員			
陣内教 川原ゆかり 座間味愛理 藤野正和			

講義概要	教育（保育）の環境にある様々な問題や課題の中から自らの研究テーマを探り、教育課程内の学習、自主的探究、教育（保育）現場におけるフィールドワークをもとに、研究をおこなっていく。この研究の結果を「学修成果レポート」として作成、学修の総まとめとしての修了研究発表会において口頭発表をおこなう。
授業計画	<p>1 本授業の履修計画① 学修の総まとめ科目履修計画書作成 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：履修計画書作成について必要な書類を補足する</p> <p>2 本授業の履修計画② 学修の総まとめ科目履修計画書作成 学習課題 予習：自分自身の4年間（短期大学の学科及び専攻科）の学修全体の省察をおこなう 復習：履修への意識を高める</p> <p>3 学修成果レポート作成① 問題状況の設定と問題点の絞り込み 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：文章を推敲する</p> <p>4 学修成果レポート作成① 文献検討・問題解決の方針立案 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：文章を推敲する</p> <p>5 学修成果レポート作成① 研究課題の明確化 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：文章を推敲する</p> <p>6 学修成果レポート作成① 論文の章立ての検討 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：文章を推敲する</p> <p>7 学修成果レポート作成① 論文全体の調整と最終的なテーマ設定 学習課題 予習：修了研究Ⅲまでに作成した研修資料を整理する 復習：文章を推敲する</p> <p>8 学修成果レポート作成① 論文の要旨作成 学習課題 予習：完成した学修成果レポート（論文）を通読する 復習：文章を推敲する</p> <p>9 修了研究発表会の資料作成① 論文（学修成果レポート）集編集 学習課題 予習：完成した学修成果レポート（論文）の印刷原稿を作成する 復習：完成した学修成果レポート（論文）をデータ保存する</p> <p>10 修了研究発表会の資料作成② パワーポイント作成 学習課題 予習：既修了者のパワーポイントを参考に自身のプレゼン方法を模索する 復習：パワーポイントの修正をおこなう</p> <p>11 修了研究発表会の資料作成③ 口頭発表練習 学習課題 予習：自身のパワーポイントの内容を把握する 復習：パワーポイントの修正をおこなう</p> <p>12 修了研究発表会の資料作成④ 質疑を想定しながら補助資料の作成 学習課題 予習：質疑応答の内容を予想する 復習：補修学習をおこなう</p> <p>13 修了研究発表会の実施① 発表会の運営と論文発表 学習課題 予習：自身の研究の目的を再確認する 復習：自身の研究の成果を再確認する</p> <p>14 修了研究発表会の実施② 発表会の運営と論文発表 学習課題 予習：自身の発表について振り返る 復習：助言指導について振り返る</p> <p>15 現在の成果と今後の研究の展望 学生の自己点検票作成 学習課題 予習：自身の学修の成果を振り返る 復習：修了後の研究の展望について構想をおこなう</p>

授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①自らの教育観（保育観）を確立し、展望をみつけることができる ②自らの研究内容を、正しい文法によって論理的に文章構成する力を身につけている ③問題や課題について適切な方法で調査・分析し、仮説に対して実証する方法を習得している ④研究した内容を適切な方法でプレゼンテーションし、より客観的な自己評価をもとに質疑に対して適切に回答することができる ⑤研究内容を学修成果として定着させ、社会に伝達すべき事項を適切な方法で意見表明することができる
教科書・参考書	研究テーマごとに、必要な参考資料を提示。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	